

リーディングDXスクール事業【実践事例】

熊本市立五福小学校(熊本県)

【取組内容②】「インターネット上の動画教材の活用」

【概要】

低学年からインターネット上の動画教材を日常的に活用していくことで、子どもたちが主体的に学ぶツールとしての定着を図っている。低学年では、算数の図形や生活科など、動画の特性を活かして学習への理解を深めるために活用した。高学年においては、それぞれが知りたい学習内容に関連するお気に入りの番組を見て知識の定着を図ったり、言語活動として動画にまとめる際に、表現方法を参考にしたりするなど、学習の個性化・個別化へつながる活用が見られるようになってきた。

【活用した動画】

NHK for school
YouTube プロフェッショナル 仕事の流儀

発展期



動画で学習内容をまとめる際に、構成を読み取ることで、自分たちの動画に活かせるところを探す

必要に応じた
主体的な活用へ

導入期



理解を深めるための一斉活用

学習の個性化へ

学習の個別化へ

発達段階に応じて...

発展期



補充学習で活用し、
知識・技能の習得を図る